

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 大和田亨
編集責任者 坂本公則

生活実態に見合う賃金を

83,033円の春闘要求を集約

2013年春闘の指標となるJR各社の業績見通しは、各社ともに国内経済の回復基調と震災からの復興景気に後押しされ、増収・増益を見込んでいます。
JR東日本の2013年

度3月期第一四半期決算は、
営業収益6,453億円
(前年同期113.4%)、
営業利益1,259億円
(同161.1%)、
経常利益1,075億円(同195.8%)となり、第一

四半期としては営業利益、
経常利益ともに過去最高となりました。

JR貨物の平成23年度
決算では、鉄道貨物輸送量
が震災による生産活動の低
迷に加え、急激に進んだ円
高の影響等で、コンテナ貨
物、車扱貨物で前年を大き
く下回ったため、営業収益
営業利益ともに減少しまし
た。これに営業外損益を加
味した経常利益では1億円
を確保したものの、次年度
以降における法人税率見直
しの影響による繰延税金資
産の取崩しにより、5億円
の当期純損失となりました。

民間シンクタンクによる
と2012年から13年に
かけての日本経済の見通し
では、2012年1~3月
期の実質GDP成長率が1
0%(年率4.1%)と高
めの成長であったことを踏



安心して暮らせる
賃上げを勝ち取ろう

全組合員が一丸
となり、組織拡
大に全力をあげ
よう。

まえ、復興需要の本格化に
よる回復基調の明確化、消
費や設備投資も堅調に推移
することが見込まれ、輸出
減速にも歯止めがかかり、
緩やかな回復に向かい、2
012年度は2%台半ばの
成長に達すると見込まれる
としています。

安全・安心な車両を提供



第24回東日本運
転協議会定期委員
会が10月11日、新
橋・生涯学習セン
ターで開催されま
した。私は委員会
を傍聴する立場で
参加し、特に10月
1日に強行実施さ
れた「グループ会
社と二体となった
業務体制のされなる推進」について、各地方
で出された意見に耳を傾け勉強して来ました。
東本運転協議会は、検修外注化施策が提
案されて以降、終始一貫して反対の立場で様々
な反対運動を展開して来ましたが、基本要求的
柱には①「安全・安心な車両を提供していく」

2013年度賃金・生活実態アンケート調査

2013年度賃金・生活実態アンケート調査は、分会・班
の協力より全分会から報告を頂き集約が出来ました。既に本
部へ来春闘に向けた要求額(83,033円)を提出しまし
た。組合員のみなさん有り難うございました。

◆調査項目から(抜粋)◆

- ①年齢：平均53.7歳
- ②勤続年数：34.1年
- ③赤字とその補てん：39,067円で期末手当から補てんする
が約87.5%、預貯金からが79.2%と回答。
- ④節約している支出：衣類、外食、旅行、小遣いの順番。
- ⑤貯蓄の目的：老後、借金、家計、教育の順番。
- ⑥今日の生活で改善したい項目：税金・社会保障、年金、労
働条件、借金、住宅の順番。
- ⑦来春闘の要求額：6万円以上が46.7%と最も多く、20
13年春闘に大きな期待を寄せています。

立場で、車両検修業務を担って行けるのか②
コンプライアンス(法令順守)・偽装請負の
疑念を払拭できない施策③出向者の労働条件
について悪化が見込まれるなど、この施策が
私たちの求める検修業務体制と相容れない内
容であるとして、この施策に反対する基本要
求を作成し団体交渉に臨んだことが報告され
ました。
各委員からは、施策が強引に実施がされ団
体交渉で確認されてきた事項について十分に
守られていない等の問題点が出されました。
また、乗務員勤務では「食う・寝る・トイレ」
や「40条予備」の扱いについて引き続き調査・
点検活動を更に強化し、要求の前進を図るこ
とを全体で確認しました。
(文責・坂本公則)